

地域担う建築技術者を

居科
環境
住環

前は当校のオープンキャンパスについてご紹介しました。今回から三回にわたり、当校の訓練科紹介となります。第一回目は住居環境科です。

住居環境科は建築系学科の流れを汲む工学系の学科です。商業施設や一般住宅など様々な建築物の住環境をどの

ように創り出していくのか、建築工事全般の知識や施工技術にいたる幅広い知識と技術を学びます。実際の大きさを建物に施工する実習科目もあり、座学にとどまらない実践的な技術の習得が可能です。

本校が設立した平成五年から設置され、科名を変えることなく現在に至ります。設立当初設定された授業カリキュラムは時代の変遷に伴う業界ニーズの変化に対応するため

のを見直しを経て、二年間で56科目を履修することで定着しました。特筆すべき点として、一般教育科目では、就職や進学に必要な知識を習得する「キャリア形成概論」及び「職業社会概論」があり、またDXに

対応した科目として後述するBIM実習及びドローンを用いた実習が令和四年度から新設されました。専攻実技及び基礎実技科目と呼ばれる体験型の科目は全体のおよ半数を占めるため、実習や実験による体験を重視する傾向となっています。

特に木造住宅施工や材料実験、環境工学実験、CAD・CG演習といった実習に多くの時間を割くことで、即戦力となる技術を習得できるのが大きな特徴です。なかでも木造住宅に関する実習が充実しており、一年次の前期で六畳間の模擬家屋を二棟建てる授業を行っています。ここでは全体の進捗管理、安全管理を行うチームリーダー、技術指

導役としてのテクニカルチーフを任命して、自ら考え行動する力を養います。後期にはこの建物を利用して二年生が床、壁、天井、開口部などの内装を施工する実習があり、制作物を通して先輩と後輩が関わりあう工夫をしています。



模擬家屋を制作する実習の様子



BIMで作成した3Dモデル

全科の特色として、授業は少人数制で行われ、教員一人あたりの学生数が少ないため

の習得が可能です。さらに、資格取得も強力にサポートしています。二級建築士、二級建築施工管理技師、建築CAD検定、三級技師、福祉住環境コーディネーター三級などの資格取得を目指せるよう、全面的にバックアップしています。

また、単独の科目ではありませんが、情報系実習の一部でドローンの操作を行う実習もあります。

その他、就職支援の取り組みとして学生が希望する企業と連携したインターンシップ（企業委託実習）も希望者に実施しており、実際の現場を肌で感じる貴重な機会を授業の一環として提供しています。

また、応用課程（三、四年生）への進学者も毎年数名おり、大学卒と同等の資格を得て日本全国で活躍しています。本科では地域に根差し、地域の未来を担う建築技術者を育成するための確かな教育を提供しています。実践的な学びを通して、あなたの夢を実現する一歩を踏み出してみませんか。

秋田職業能力開発短期大学校

住居環境科

小林 健

2025
北鹿の学び舎から③
— 学校紹介・活躍する修了生 —